

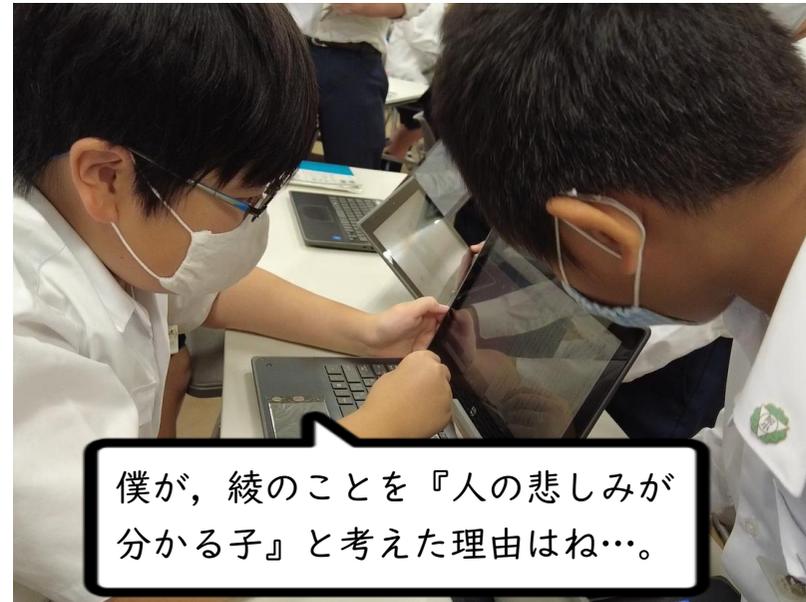
人物像を想像しながら読もう ～『たずねびと』～

学習指導者 あずま 東 たいすけ 泰右

本単元では、『たずねびと』を読み、中心人物の人物像を短いキーワードにまとめた「私の考える綾」カードを書いて友達と紹介し合うという言語活動を設定しました。

子供たちは、デジタル教科書を用いながら、綾の戦争に対する思いや考え方が分かる複数の叙述を見付け、それを基に「私の考える綾」をまとめていきました。

「なるほどタイム」で人物像について交流する際は、それぞれの「私の考える綾」を表すキーワードを学習支援アプリを使って集約し、一覧で見られるようにしたことで、友達の気になる考えを見付けて質問したり、自分の考えを説明したりすることができました。このような交流を何度も繰り返すことによって「私の考える綾」をより具体的なものにしていきました。



僕が、綾のことを『人の悲しみが分かる子』と考えた理由はね…。

考察

○全員の考えを手元のPCで見られるようにしたことで、目的をもって進んで友達と関わろうとする姿が見られた。これまでの学習の積み重ねによって、交流のよさや必要感を子供たちとしっかりと共有できていた。

●人物像を想像する際に、前の場面までに捉えてきたこととつないで考えようとする意識が低かったのではないか。場面ごとに区切っていたワークシートの運用面も見直したい。